

第3回箕面駅周辺整備方針検討懇話会会議概要

(2月7日実施分)

議題1 ワークショップの状況等について【報告】【資料1】

議題2 箕面駅周辺整備計画案について【資料2】

全体コンセプト 駅前広場 駐車場・駐輪場 アーケード・街路

主な意見

(駅前広場)

噴水の右側に緑地があるが、ここを活用することはできないか。狭い場所なので上手く車線をとってもらいたい。一般車両の乗降スペースがあるが、ここは朝と夕方に、企業の送迎バスが占拠しており、歩道にはバスを待つ人があふれている。

回答：一般車両の乗降スペースでの迷惑駐車や送迎バスの問題は、非常に難しい問題である。噴水の右側の緑地は、車の流れがスムーズになるよう、警察の指示で設けている。車線の数を変更することは、車の通行が錯綜することにつながり、危険である。

駅と少し離れた場所で乗降してもらおうと、商店街を歩くようになるが、駅前にスペースを確保すると、回遊しなくなる。

道路の形態が変わっても、使用勝手の点で、規制するか何か改善策を提案しないと、一般車両の乗降スペースに送迎バスが停まるのではないか。

路線バスも箕面の大きな課題である。市民ニーズに対応するだけのバスがない。箕面駅を経由するバスが少ない。将来的には、箕面駅前を通るバスを増やす方向で、施策をもっていかなければならない。

箕面トンネルを通ってくる路線バスが、箕面駅前を回ると活性化するのではないか。今後、バスが箕面駅に来ることを考え、バスバースは減らさず確保しておくべきである。

噴水の右側の緑地と二車線の東側スペースをいかせば、駐停車帯がとれるのではないか。
回答：駅前広場は小さなスペースに、多機能を盛り込んでいるので、駐停車スペースを増やすのは難しい。解決策として、一つはタイムシェアリングで、時間帯によってスペースを使い分ける方法がある。もう一つは、送迎バスを駅前に来させず、乗降客に歩いてもらうことである。少し離れたところにバスバースを設けたことで、商店街を歩く人が増えた駅前もある。

委員長：いろいろ課題は残されているが、おおむね提案どおりとする。

(駐車場・駐輪場)

駐輪場の建て替えは、コストはかかるが、メリットは大きい。建て替えて、オートスロープを設置し、通勤、通学での駐輪を2、3階にし、1階は買い物客用にすればいい。

普通なら、整備するときに機能を重視するが、箕面は商業と観光を意識したまちなので、美観、美装を大事にしなければいけない。また、これからバイクが多くなると思うので、バイク置き場は広くする。

駐輪場を建て替えて整備し、駐輪場所はそこに集約する。駐輪場への利用促進や不法駐輪への対応には、市だけでなく、地域や商店街のかたにも協力してもらう必要がある。

駐輪場を一つに集約すると、管理の効率性はいいが、利用者の利便性はどうか。また、サンプラザ近くで20台ほどの駐輪スペースを設けたが、その管理だけでも、相当な時間と労力がかかる。駐輪場の収容台数の問題があり、商業者の努力の及ぶところではないと思う。分散型の駐輪場も考えるべきではないか。

回答：現在の駐輪場は、3階がほとんど使われていない。空きスペースがまだあるので、そこを利用してもらうことが前提である。

自転車の問題は、無秩序に放置されていることにある。分散して置くと、目が届かず、買い物客のものか放置されたものか区別がつかなくなる。そういう意味では、一ヶ所にまとめて管理した方が、秩序立って置ける。駐輪場の利便性を改善し、利用率が上がったところもあるので、がんばれば箕面駅前も整然とした駐輪状況になるのではないか。ただ、市だけでなく、商店街や市民のかたも取り組まなければ、効果は出ない。

駐輪場を建て替える場合、B案とC案がある。C案では、駐車場内にミニバイク置き場を設けている。ミニバイクを置くスペースには、現在、観光バスが5台置けるが、この案では2台しか入らない。他に観光バスを置くスペースはないので、ここのスペースは残しておく方がいい。

駐輪場の建て替えは了承して、配置の問題などは、駐車場との関係もあるので、実施設計の段階で考えればいいのか。ワークショップでは、建て替えると料金が上がるので、美装化でいいという意見があったと聞いた。

回答：建て替えたからといって、それを理由に料金を上げるというわけではない。

観光バスが来るのはシーズンだけだと思うので、C案で、時期によって、観光バス置き場とミニバイク置き場に使い分けるのはどうか。

回答：観光バスとミニバイクでは、用途が違うので無理である。

委員長：今回の懇話会では、建て替えるか建て替えないかを定めることとし、建て替えるということとする。

(アーケード・街路)

道路は全面にわたり、整備した方がいい。インターロッキングは車両が走ると歪んだりして、費用や使用勝手の点で大変なので、カラー舗装がいいのではないかと。駐輪場を出たところにあるカラー舗装に合わせて整備するといい。

資料2、32ページにある、サンプラザ1号館と2号館の間のアーケード整備案は、駅から降りたときの雰囲気からすると、B案の方がいい。

サンプラザと池田銀行の間にも、アーケードを設置してもらいたい。イベントをするときに便利になる。

回答：アーケードを車道の上に設置するのは、難しい。またアーケードの面積が広がると、見通しが悪くなり、コンセプトと逆行する。

資料2、36ページにあるサインの整備イメージ案では、統一感のあるC案がいい。すべてのサインが、黒の長方形が基本になっている。色目は3色程度に抑えると、すっきりして見える。商業者用のサイン・デザインの手引き、ガイドラインを作る必要がある。さらに、サインだけでなく、店構え、外観のデザインの手引きも作ると、すっきりした商店街になると思う。

C案のサインは、背景が濃くて白い文字になっているので、目の不自由な人にもわかりやすい。

委員長：周辺全体で統一性があった方がいい。C案とする。

(整備の優先順位)

整備の期間が、平成19～23年度の5年間ぐらいということなら、行政の着手しやすいところから、取り組んでもらえばいい。

今回はハードの整備であるが、ハードとソフトの両方が充実してこそ、活性化する。ハードだけを整備しても意味がない。ハードの整備では、コストの点から順位付けがあると思うが、それに加えソフト面と合わせて、優先順位を考えていく方が効果は大きい。商業者が考えているソフト面と関連して、順位を考えていく必要がある。

ハードとソフトの比重は同じだと思う。両方が充実してこそ効果が出てくる。ハードとソフトが上手くかみ合って、一つのものができるのであり、どちらが優先ということではない。

工事をするとすると、車が増えるので、駐車場を先に整備しておいた方がいい。

委員長：優先順位について議論していただいたが、これらの議論を踏まえて、市に検討し

ていただく。

まとめ

整備計画案(全体コンセプト、駅前広場、駐車場・駐輪場、アーケード・街路)について、おおむね了とされた。

- ・駅前広場での送迎バスの問題については、運用上で工夫する。
- ・駐輪場は建て替える。不法駐輪の問題は、商業者や地域の方と協力して取り組む。
- ・サンプラザ1号館・2号館間のアーケードの整備案は、B案とする。サインの整備イメージ案はC案とする。

整備の優先順位については、今回の議論を踏まえ検討する。

